

12月は大気汚染防止推進月間です。

例年、12月は自動車交通量の増加、ビルや家庭の暖房の他、気象条件の影響等により、大気汚染物質濃度が高くなる傾向があります。環境省では、毎年12月を大気汚染防止推進月間として、きれいな空を守ることの大切さを呼びかけています。

大気環境を守るための、環境省からの提案です。

○自転車や電車の使用を心がけましょう

冬に空気が汚れる理由のひとつに、自動車交通量の増加があります。天気のいい日は出来るだけ自転車で出かけるなど、移動の際には、徒歩や自転車、公共交通機関の使用を心がけましょう。

○暖房の使用を控えましょう

過度の暖房使用は空気が汚れる原因となります。暖房は室温20度で、重ね着などの工夫を。ウォームビズやウォームシェアで暖かな冬をお過ご下さい。

○エコドライブを実践してみましょう

自動車に乗っていても環境のために出来ることがあります。まずは、ふんわりアクセル「eスタート」から始めてみましょう！

○大気汚染の防止について考えてみましょう

ガソリンや溶剤などに含まれる揮発性有機化合物(VOC)は、光化学スモッグを起こす原因物質です。私たちの生活の中でも、VOCを含むスプレー製品を使わないなど、大気環境のためにできことがあります。

○野焼きをやめましょう

野焼きはPM2.5濃度の上昇に影響を与える場合があるため、稻わら等を有効利用することによって、野焼きをやめましょう。なお、野焼きは法律により原則として禁止されています。

太気汚染監視システム

岐阜県内には人気榜に自動販賣機が25局（県19局、核都市4局、人、人、平2局）、設置されており、県内の大人気渋谷で渋谷で飲食するには利便性を高めています。大人気渋谷飲食の密度が一層の渋谷を醸すその状態が実現すると言えらるる大人気渋谷の渋谷には大人気渋谷飲食を享受します。

概要 2. における大気汚染物質測定期の設立状況と測定データの活用について



微小粒子状物質($PM_{2.5}$)の成分分析

[RM-ENCL]

PM_{2.5}について
PM_{2.5}は直径2.5pm(1pm(マイクロメートル)=1mmの1000万分の1)以下の非常に小さな粒子のため、肺の奥深くにまで入り込みやすく、せんそくや気管支炎などの呼吸器系疾患や循環器系疾患などのリスクを上昇させると言われています。

【PM_{2.5}の発生源】

- 【PM_{2.5}の発生源】
PM_{2.5}の発生源は非常に多岐にわたります。
 - 一次発生源：自動車や工場などからの排ガス、野焼きなど
 - 二次発生源：化学物質が大気中で光やオゾンと反応することで生成
- 【PM_{2.5}の成分分析】

PM_{2.5}の成分を専用の分析法で 排出低減策のためのデータ

イオン成分 8項目 無機成分 30項目



舞機成分 30項目

一 炭素成分 8項目



ナショナル・トラン

